

【学習指導要領 前文より】 これからの学校
(教育基本法の目的のもと目標の達成を目指しつつ)
一人一人の生徒が、**自分のよさや可能性を認識**するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、**多様な人々と協働**しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、**持続可能な社会の創り手**となることができるようにする

【福島県教育委員会 学びの変革プラン】

- 個別最適化された学び
ふくしま学力調査の分析、ICT活用
- 協働的な学び
学校と地域の連携・協働、コミュニティスクール
- 探究的な学び
SDGsの視点を活用したプロジェクト学習

【猪苗代町の教育】から

- 野口英世の遺訓を生かした教育の推進
- 地域の文化・特性に学び
未来を拓く猪苗代の子どもの育成
- 学校、家庭、地域、社会が一体となった教育
- 国際化、情報化等(変化)に対応する教育
- キャリア教育の推進

**猪苗代町立猪苗代中学校
経営・運営ビジョン2025**



教育目標

～野口英世博士の遺訓を生かし～
「地域に学び、持続可能な未来を拓く人材の育成」

【目指す生徒の姿】～野口英世博士の遺訓より～

- 目的** 目的を持って生活し、自己実現を図る生徒
- 正直** 自分の考えを持ち、自他を大切にする生徒
- 忍耐** 困難に負けず、粘り強く努力し続ける生徒

重点目標 (具体的実践事項)

【目的】・・・(知)

目的を明確にさせ、思考力の向上に責任を持つ個別最適・協働的・探究的な学びへ向けて



○ **主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善**
～「授業スタンダード」をもとにした授業の実践～

- めあての明示と、まとめ・振り返りの時間の確保
- 考える時間と 学び合いや教え合いの時間の確保
- 各種学力調査の分析と活用

○ **学びの習慣化の育成(自己マネジメント力の育成)**
～「家庭学習スタンダード」をもとにした連携～

- AI型ドリル(ミライシード)の積極的活用
- 授業と家庭学習との連携
- 各種検定への積極的な挑戦

○ **読解力、探究力、思考力、発信力の育成**

～社会に開かれた教育課程の実践とカリキュラムマネジメント～

- 総合的な学習の時間の充実
- 地域人材、機関との連携
- 小・中・高との連携強化



【正直】・・・(徳)

正直な言動を大切にさせ、協働の喜びから自己有用感を高めさせる



○ **道徳教育の充実**

～考え、議論する道徳科の授業を要に～

- 体験を伴った道徳教育
- 人権教育、命の大切さを学ぶ授業の実施
- 教育活動をつなぎ、補充・深化・統合

○ **勤労・体験、ボランティア活動の充実**

～生徒主体の活動を通して～

- キャリアパスポートの活用
- 生徒会活動の活性化
- アントレプレナーシップ(起業家精神)の育成

○ **生徒指導の充実**

～居場所づくりと絆づくりを通して～

- 不登校対応SSR運営、いじめを許さない風土づくり
- 教育相談の充実と役割連携(SC・SSWとの連携)
- メディアリテラシーの育成



【忍耐】・・・(体)

忍耐から学ばせ、レジリエンス(※)を高めさせる(※しなやかに適応する力)



○ **安心・安全の維持、管理**

～当事者意識を育てて～

- 定期的な点検・評価と対応マニュアルの更新
- 危機管理・回避能力の育成と実践的訓練
- 地域と連携した防災・減災教育、放射線教育の充実

○ **メンタルヘルス、健康増進、体力向上の推進**

- ～自分手帳の有効活用を通して～
- メンタルヘルス教育の継続
- 定期的な健康診断と保健指導
- 部活動や授業での運動量の確保

○ **食育の充実**

～地域・家庭との連携を通して～

- 学校給食の教材化による食に関する指導の充実
- 農業体験や調理実習等、教科横断的な食育
- アレルギー事故防止や対応力の育成



【教育環境の整備・発展】

- **ESDを教育の柱にSDGs達成への取組**
(自然環境保護活動、資源循環サイクル活動、クリーンエネルギー学習、防災・減災教育、メンタルヘルス等)

- **自然体験・農業体験・探究活動の充実**
(地域人材、関係機関・団体との連携)

- **ICT機器の有効活用**

(校務処理、学習指導、広報・発信)

- 教育的ニーズを踏まえた特別支援教育の充実



【い・な・わ・し・ろ】の理念

い 「生きる力」を
な 「なかまとともに」
わ 「和で奏でる」
し 「Think Globally Act Locally」
ろ 「ロマンを追い求める」

【地域に開かれ信頼され、応援される学校づくり】

- **家庭・地域との連携・融合を図り、地域の特性や教育力を生かした学校経営**

- 地域連携担当教職員と地域コーディネーターとの連携強化
- コミュニティスクール(学校運営協議会制度)として、課題の共有と熟議による学校運営

- 学校事故の未然防止と不祥事ゼロへの取組
- 積極的な情報収集と情報発信
(PTA常任委員会、HP・各種学校だよりの活用)

